村のがまだしモン No.9

村で頑張っている方々を紹介します

河原（かわはら） 加寿美（かずみ）さん　下野地区

くまモン大好きな河原さん

南阿蘇村観光PR事業実行委員会「チーム力（ちから）」の事務局員として今年の6月からこの村で働き始めました。富山県出身ですが、趣味の旅行で8年前に南阿蘇村の葉祥明美術館を訪れたとき、ブルービー（幸せを呼ぶ青い蜂）と出会い、大ファンになり通っていました。その大好きな南阿蘇で今回の震災が起きたとき、いてもたってもいられなくなり、4月からボランティアで入村し、たくさんの方のおかげで今のお仕事をさせてもらっております。

現在は主に村の観光PRを目的としてインターネットを用いた情報発信、また販売可能な商品の情報集約、イベントでの出品交渉などを担当しています。

まだまだ力不足を痛感する日々ですが、わたしと同じ南阿蘇ファンが1人でも増えるように今後も全力で動いていきたいです！と意気込んでおられる河原さんでした。

宮﨑（みやざき） 祐介（ゆうすけ）さん（31歳）　下野地区

JA阿蘇に入組して、11年目になりました。4月の人事異動で長陽地区の米担当から、白水の給油所の担当になりました。

異動してすぐ、熊本地震が発生し、給油のための大行列が出来たり、通勤の道路がなくなるなど大変でした。

給油所の業務は、給油・オイル交換・タイヤ交換など車を利用するうえでは、とても重要な仕事で、やりがいを感じています。

米の担当を4月3日までしていましたので、地震の影響で長陽地区の水稲の作付けが大幅に出来なくなったことについては悲しく思っています。

また、私の両親も農業をしており、水稲を約3ha、イチゴが約20aと繁殖牛を数頭飼育しています。

私も休みの日など時間がある時はトラクターに乗ったり、草刈りをしたり出来る範囲で農業をしています。

JAでの仕事を通して、南阿蘇村の復興に携わっていきたいと語られる宮﨑さんでした。

給油所での業務に
やりがいを感じる宮﨑さん

編集後記

4月16日の熊本地震本震から、早6カ月が経ちました。

見慣れた北向山や、裏山の土砂崩れを毎日見ていますが、今も夢でも見ているようです。10月には仮設住宅も全て完成し、生活再建へ向け一歩一歩進み始めました。

復旧・復興もスピードが遅いという声もありますが、確実に前へ進んでいます。

すべての村民の皆さまに笑顔が戻ることを信じて、議会・執行部・職員そして村民一丸となって、今まで以上の南阿蘇村復興をめざしていきましょう。

議会広報特別委員会
委　員　丸野健一郎

議会広報特別委員会

委員長　桐原純男
副委員長　市原秀志
委員　脇坂春喜
〃　後藤征昭
〃　丸野健一郎
〃　太田吉浩

発行責任者

議長　荒牧俊一

編集発行／南阿蘇村議会広報特別委員会　熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰145-3　TEL0967-67-1553　FAX0967-67-0871